DESIGNED BY IRIVER

P8

USER GUIDE

iriver

目次

01
はじめに

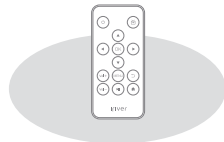
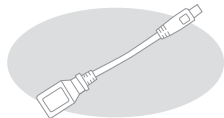
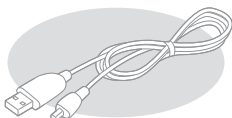
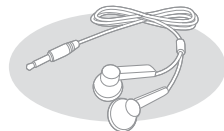
02
P8の使用

03
その他の情報

コンポーネント

コンポーネントは、製品のパフォーマンスまたは品質の改善のために、事前の通知なく変更されることがあります。

本製品

クイックスタートガイド
取扱説明書・製品保証

リモコン

USBホストケーブル

USBケーブル

イヤホン

・クイックスタートガイド:本製品の使用方法を説明します。

・製品保証:安全な場所に保管してください。保証期間中の修理に必要になります。

・取扱説明書：本製品の使用方法を説明します。

・USBケーブル:本製品をコンピューターに接続し、バッテリーの再充電を行います。

・USBホストケーブル:ホストデバイスに接続します。

・イヤホン:本製品に接続するとサウンドが出力されます。

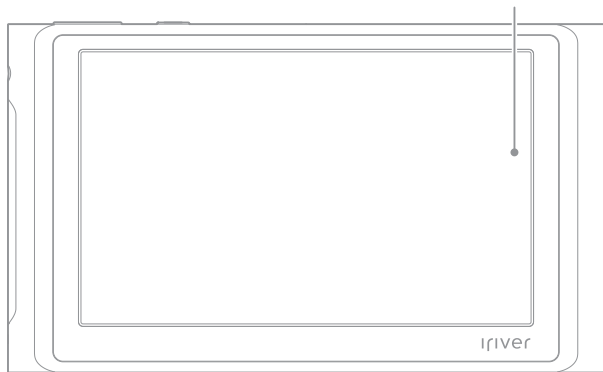
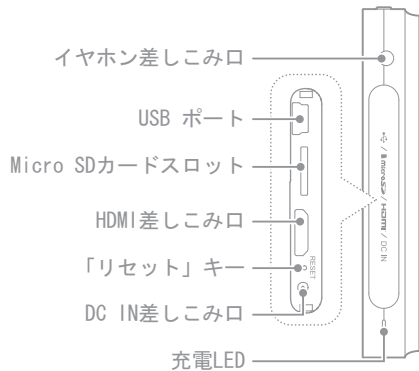
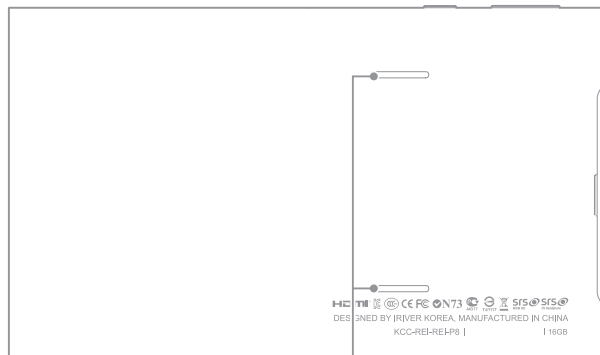
・リモコン:本製品をTVに接続して使用するときに使います。

コントロールの配置

印刷された外観、コンポーネントおよび内容は、モデルによって異なる場合があります。

音量を下げる
音量を上げる
電源 / ホールドスイッチ
タッチ
ディスプレイ

イヤホン差しこみ口
USB ポート
Micro SDカードスロット
HDMI差しこみ口
「リセット」キー
DC IN差しこみ口
充電LED
RESET
DC IN

iriver

HDMI
DESIGNED BY IRIVER KOREA, MANUFACTURED IN CHINA
KCC-REI-REI-P8
16GB
赤外線リモコンレシーバー
MIC
スピーカー
MIC

音量キー:音量を調節します。
電源 / ホールドスイッチ:「電源」の方にスライドすると電源のオン/オフが切り替わり、「ホールド」の方へスライドするとデバイスがロックされます。
タッチディスプレイ:タッチすることで画面を表示したり操作したりすることができます。
イヤホン差しこみ口:イヤホンを接続するとサウンドが出力されます。
USBポート:このUSBポートを使ってコンピューターに接続します。
Micro SD カードスロット:Micro SDカードを挿入すると、カード上のファイルが表示されます。
HDMI差しこみ口:HDMIケーブル（別売り）を接続すると外部デバイスからビデオとサウンドが出力されます。(サウンドは、TVの仕様によって出力されないこともあります。)
「リセット」キー:製品をリセットします。
DC IN差しこみ口:ACアダプター（別売り）に接続して、バッテリーを充電します。

充電LED：本製品の充電状態を示し、完全に充電されると自動的に電源を切ります。

赤外線リモコンレシーバー：リモコンから赤外線信号を受け取ります。

MIC:音声を録音します。

スピーカー:音声を出力します。

電源管理

電源のオン/オフ

1. ［電源/ホールドスイッチ］を、電源が入るまで［ ⏻ ］の方向にスライドさせます。
2. 製品の電源が入っている時に、［電源/ホールドスイッチ］を、電源が切れるまで［ ⏻ ］の方向にスライドさせます。

! 本製品は自動省電力機能を備えており、バッテリー消費を最小化することができます。[設定 - パワーマネージメント- 自動オフ] によって、指定された時間キー操作がないと、本製品は自動的に電源が切れます。(78ページを参照)

ホールド機能の使用

1. 本製品の電源が入っている時に [電源/ホールドスイッチ] を [🔒] の方向にスライドさせると、操作がロックされます。
2. ロックを解除するには、[電源/ホールドスイッチ] を [🔒] の反対方向へスライドさせます。

リセット機能の使用

1. 本製品の使用中にボタンが動作しない場合は、[リセット] を押します。

!
リセットしても現在の時刻とメモリのデータは保存されます。
メモリの損傷を避けるため、再生中はリセット機能を使わないでください。

バッテリーの充電

1. USBケーブルを接続し、電源が入っているコンピューターと接続します。
   バッテリーの充電が開始します。

!
充電中は充電LEDが白く光ります。本製品が完全に充電されるとLEDはオフになります。
充電する際は本製品の電源を切ってください。充電中に本製品の電源が入っていると、「充電の完了」が表示されない場合があります。
バッテリーの完全な充電には約6時間半かかります(完全に放電され、電源が入っていない場合)。

充電中に本製品を使用すると、充電時間が長くなり、また本製品が完全に充電されない場合があります。

USBケーブルに接続すると電源供給が非常に低くなるため、バッテリーが放電されることがあります。

本製品は室温で充電および保管してください。再充電中は、本製品を極端な温度に曝さないでください。

充電中に本製品を使用すると、充電時間が長くなることがあります。

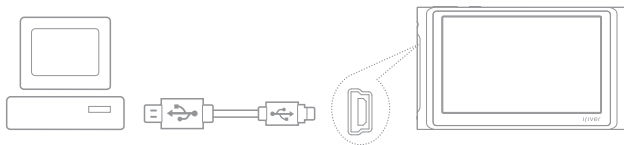
再充電可能なバッテリーは消耗品であり、充電されたバッテリーの利用可能な時間は、時間と共に短くなります。

製品の接続

イヤホンの接続

1. イヤホンを、イヤホン差しこみ口に接続します。

コンピューターへの接続

1. 本製品とコンピューターの電源を入れます。
2. USBケーブルを使用して本製品をコンピューターに接続すると、画面に接続モードが表示されます。

! 同梱のUSBケーブルのみを使用してください。他のケーブルの使用は誤動作の原因となります。
コンピューター/USB接続を問題なく行うために、全ての機能を無効にしてください。
本製品が高出力のUSB2.0ポートに接続されていることを確認します。電力供給を持たないキーボードまたはUSBハブに接続すると、誤動作の原因となります。

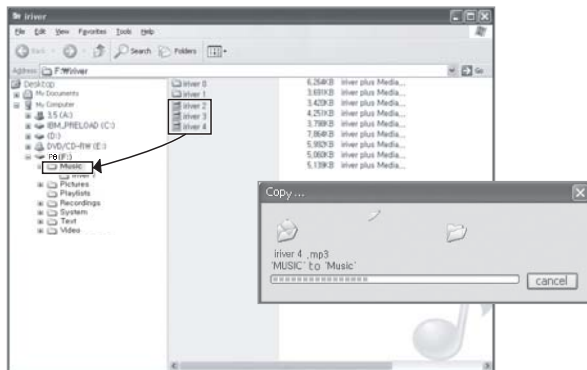
コンピューターからの取り外し

1. コンピューター画面のタスクバー上のアイコンをクリックして、本製品をコンピューターから安全に取り外します。
2. ［確認］をクリックして、本製品が取り外されたことを確認します。

! オペレーティングシステムによって、例えばWindows XPでは、アイコンはタスクバーで非表示になっていることがあります。非表示のアイコンは、インジケーターをクリックすると表示されます。

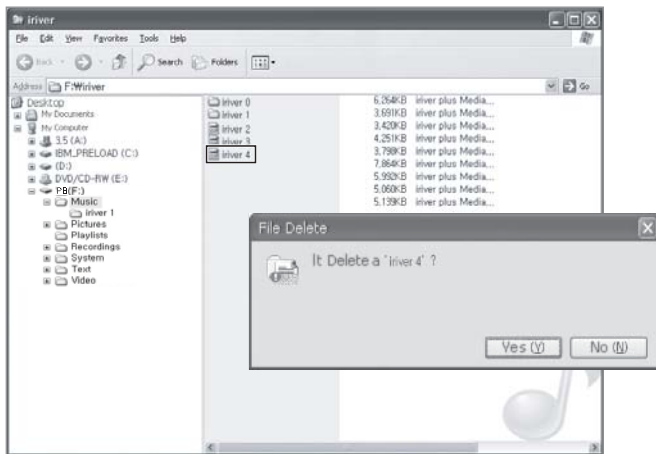
USBを取り外す際は、オペレーティングシステムの安全な取り外し機能を使うことをお勧めします。Windows ExplorerやWindows Media Playerなどのアプリケーションプログラムが使用中の場合は、安全な取り外しを実行できない可能性があります。起動している全てのアプリケーションプログラムを閉じてから、本製品を安全に取り外すようにしてください。
安全な取り外しが実行できない場合は、後で再試行してください。安全に取り外しができないと、データの損失につながる可能性があります。

本製品へのファイル（フォルダ）のコピー

1. コンピューターからコピーするファイル/フォルダを選択した後、選択したファイル/フォルダをコピー先のドライブへドラッグ＆ドロップします。
2. ファイル（またはフォルダ）は内容のタイプによって、以下のフォルダへ転送してください。 - 音楽 : Music - 写真 : Pictures - ビデオ : Video - テキスト : Ebook

USBケーブルは適切に接続してください。

ファイル/フォルダのコピーまたは移動中にコンピューターまたは本製品の電源がオフになっている、またはUSBケーブルが外れていると、メモリに深刻な損傷が生じることがあります。

本製品からのファイル（フォルダ）の削除

1. 削除するファイル/フォルダを選択して、それらを右クリックしてから［削除］を選択します。
2. ［ファイル/フォルダの削除の確認］ウィンドウがポップアップ表示されたら［はい］をクリックすると、選択したファイル/フォルダが削除されます。

TVへの接続

1. HDMIケーブル（別売り）を使って、本製品のHDMI差しこみ口に外部デバイスを接続します。
2. ビデオ再生画面が外部デバイスに表示されたら、本製品のビデオとサウンドが外部デバイスを通して出力されます。
3. リモコンのボタンを押すとファイルが表示されます。

!

TV接続時は、リモコンでの操作となります。

外部デバイスの電源を切り、本製品に接続します。

ビデオオプションの［TV Out］を［オン］に設定します。

ビデオオプションの［TV解像度］で解像度を設定します。

サウンドは、外部デバイスの仕様によって出力されないこともあります。

外部デバイスが接続されている間に、リモコンで本製品を操作します。

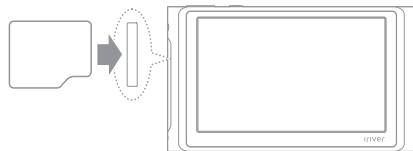
ビデオとサウンドは、FMラジオ、録音、電子書籍モードでは外部デバイスから出力されません。

TVの解像度が480Pに設定されていると、ビデオ再生の画面のみが外部デバイスに表示されます。他の画面を表示させる場合は、必ず別の解像度に設定してください。

ビデオの再生中にリモコンの［TV Out］ボタンを押すと、外部デバイスに即座にビデオが表示されます。他の機能を使用中にリモコンの［TV Out］ボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

外部デバイスが接続されていないときにリモコンの［TV Out］ボタンを押すと、本製品のディスプレイがオフになります。[電源/ホールドスイッチ］を［ ⏻ ］の方向に押すと、ディスプレイが表示されます。

Micro SDカードの挿入/取り外し

1. 電源を切り、Micro SDカード（図を参照）をSDカードスロットに入れてそっと押します。
2. カードを取り外すには、カードをもう一度押します。

推奨されるSDカード

ブランド：SanDisk

!

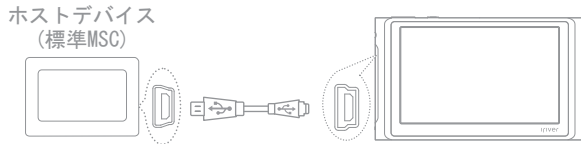
電源が入っていないときに、Micro SDカードを挿入/取り出しを行ってください。
Micro SDカードに力を加えないでください。Micro SDカードの誤動作や損傷の原因となります。Micro SDカードの挿入/取り出しの繰り返しはしないでください。
使用中はMicro SDカードを取り出さないでください。Micro SDカードのデータの削除、誤動作や損傷の原因となります。
Micro SDカードが正しく挿入されていないと、本製品が誤動作したり、カードが詰まったりすることがあります。
推奨されるMicro SDカードのみを使用してください。他のMicro SDカードを使用すると誤動作が生じることがあります。
Micro SDカードの転送速度は、コンピューターの状態によって異なる場合があります。
本製品を使ってMicro SDカードをフォーマットすることはできません。カードリーダーをコンピューターに接続してからフォーマットを行ってください。
Micro SDカードを再フォーマットすると、データは全て削除されます。再フォーマット前に全てのデータのバックアップをとってください。Micro SDカードはFAT 32システムにフォーマットしてください。

Micro SDカードが認識されない、または誤動作する場合は、再フォーマットしてから再試行してください。

Micro SDカードは別途購入することができます。

32GBを超えるMicro SDカードは使用しないでください。

ホストデバイス （標準MSC） への接続

1. 本製品がオフの時に、USBホストケーブルを使って本製品をホストデバイス（標準MSC）に接続します。

! デジタルカメラ、ドライブの個別の設置が必要な外付けHDDなどの一部の製品、または複数ドライブの作成が必要なマルチカードリーダーなどのデバイスは、サポートされていない場合があります。

ホストドライブに接続する際は、バッテリーが完全に充電されており、ACアダプタ（別売り）が接続されていることを確認してください。

ホーム画面

モデルによって、サポートされる機能が異なる場合があります。

ホーム画面のキャプション

● ○　：現在のロケーションを表示します。

：USB接続を表示します。

：Micro SDカードの挿し込み状態を表示します。

▶ OFF ：音楽/FMラジオを選択すると、ミニプレイヤーウィンドウが表示されます。

：ディスプレイ画面の輝度を設定します。

20　：音量レベルを表示します。

09:28 pm ：現在の時刻を表示します。

：バッテリー状態。

音楽:音楽を再生します。(27～37ページ)

ビデオ:ビデオファイルを再生します。(38～45ページ)

FMラジオ:FMラジオを聴いたり録音したりします。(46～53ページ)

写真：写真を表示します。(54～60ページ)

電子書籍：テキストファイルを読みます。(61～65ページ)

録音:音声を録音します。(66～69ページ)

カレンダー：カレンダーを表示します。(70ページ)

ファイルブラウザ：デバイスとMicro SDカードに保存されたファイルを確認できます。

(71～73ページ)

設定：ユーザー環境を設定します。(74～78ページ)

タッチスクリーンの使用

1. 本製品には、画面に触れることで操作できるタッチスクリーンがシステム備わっています。画面に表示されている中から希望の機能に触れることで、その機能を実行することができます。

! ポインターやその他の鋭利な物で画面に強く触れると、損傷することがあります。

画面の移動

1. ホーム画面上で画面を［左/右 ↔ ］に移動させると、画面が移動します。

オプションの選択

1. 電源を入れるとホーム画面が表示されます。
   - 本製品の使用中に［ ⬆ ］を押すと、ホーム画面が表示されます。
2. 希望のモードを選択すると、そのモードが再生されます。
3. モードの実行中に［ ← ］を押すと、前の画面が表示されます。

リストの上下移動

1. リスト画面の［上/下 ↕ ］を使うとリストが上下に移動します。

音楽

音楽の選択

1. ホーム画面で［音楽］を選択すると、音楽リストが表示されます。
2. 音楽リスト内の希望の音楽を押すと、その音楽が再生されます。

! 音楽のミニプレイヤーウィンドウ内の［ ▶ ］を押すと、希望の音楽が再生されます。前/次の曲を聴くには[⏮/⏭ ］を押します。
音楽のミニプレイヤーウィンドウを選択して［ 🎧 ］を押すと、音楽の再生画面が表示されます。
フォルダを選択すると、そのフォルダ内のファイルにアクセスできます。[← ］を押すと、上位フォルダに移動します。右上角にある［ローカルディスク/Medialib］を押すと、スキャン設定を変更できます。

右上角にある［ローカルディスク - 最近の音楽］を押すと、最近再生した音楽が再生されます。

再生中に［ローカルディスク - 現在再生中］を押すと、音楽の再生画面が表示されます。

連続再生時間:約50時間（MP3、128Kbps、44.1kHz、音量20、EQ標準、LCDオフ、EQノーマルの場合）。

サポートされるファイル形式:MP3、WMA、OGG、WAV、APEおよびFLAC

音楽の再生

- ［ ＋/ ー ］を押して音量を調整します。
- 再生中に画面の［ ⏸/▶ ］を押すと、一時停止/再開します。
- 再生中に画面の［ ⏮/⏭ ］を押すと、前/次の音楽が再生されます。
- 再生中に画面のプログレスバー上の希望の場所に触れると、そこに移動します。

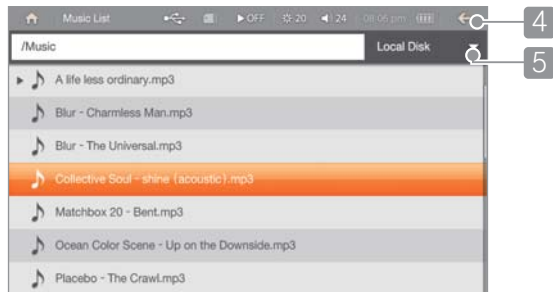
- 再生中、ポイントAで [⟼] を選択し、再度 [⟼] を押してポイントBを選びます。これで、プレイヤーはポイントAとBの間で繰り返し再生するようになります。再度 [⟼] を押すと、ループ再生が無効になります。
- 再生中に [↻ ⤨] を押すと、再生モードを設定することができます。
- 再生中に [Normal] を押すとEQを設定できます。
- 再生中に [1.0X] を押すと再生速度を設定できます。
- 再生中に [★★★☆☆] を押すと、選択した音楽の評価を設定できます。

! SD カード、USBメモリなどの外部デバイスに保存されたファイルはMedia Libに登録することはできず、またブックマークはサポートされていません。

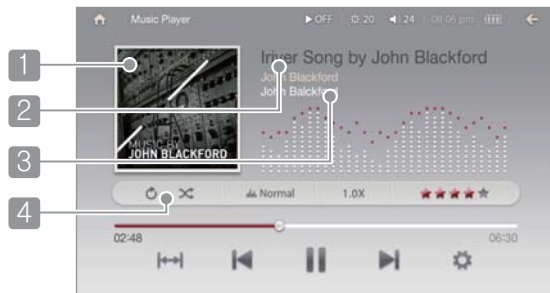
ディスプレイ上の音楽再生リスト

1 ホーム画面　：ホーム画面に戻ります。

2 現在のロケーション：現在のロケーションが表示されます。

3 ファイルリスト：ファイルリストが表示されます。

4 前の画面：前の画面が表示されます。

5 スキャン方法/ストレージメモリ：スキャン方法とストレージメモリを選択します。

音楽の再生用LCDディスプレイ

1 アルバムアート：音楽ファイルにアルバムアートの画像が含まれている際に表示されます。

2 タイトル（ファイル名）：タイトル（ファイル名）が表示されます。

3 アーティスト/アルバム名：アーティスト名とアルバム名が表示されます。

4 再生モード:再生モードを設定/表示します。

5 EQ:EQを設定/表示します。

6 プログレスバー：進行状況を表示します。

7 A-Bリピート：再生中にA-Bリピートを設定/無効化します。

8 再生速度：再生速度を設定/表示します。

9 評価：選択した音楽の評価を設定/表示します。

10 経過時間：音楽の再生中に経過時間が表示されます。

11 前のファイルを再生：前のファイルを再生します。

12 現在のファイルの合計再生時間：現在のファイルの合計再生時間が表示されます。

13 再生/一時停止：再生を一時停止/再開します。

14 次のファイルを再生:次のファイルを再生します。

15 オプション : 音楽のオプションが表示されます。

その他の機能

1. ファイルの再生中に［ ⚙ ］を押すと、オプションリストが表示されます。
2. 希望のメニューを選択し、項目を設定します。

- 再生モード:再生中に再生モードを設定します。
- EQ:再生中にEQを設定します。
  + SRS WOW HD:ステレオサウンド効果を設定します。
    (WOW HD™ が、より力強い低音と明瞭な高調波領域を提供し、ダイナミックな3Dサウンド効果によってエンターテイメント体験を届けることで、サウンドの質を高めます。)
  + SRS:仮想三次元サウンド効果を設定します。
  + フォーカス:サウンドの明瞭レベルを設定します。
  + TruBass:低音を設定します。
  + WOW:使用するイヤホンの特性に従い、増幅値を設定します。
  + デフィニション:失われたサウンドを元のサウンドのレベルに復元します。

- SRS 5.1サラウンド（SRS CSヘッドホン）
  イヤホンとヘッドホンを通した、ホームシアターのようなサラウンドサウンド効果のレベルを設定します。DVD映画などのマルチチャネルのコンテンツを考慮して、SRS CS Headphone™は、イヤホンとヘッドホンを介した5.1サラウンドサウンド体験を実現します。
  （SRS 5.1サラウンドは、イヤホンが挿入されているときのみ有効になります。）
  + TruBass:低音を設定します。
  + せりふの明瞭さ：歌詞やせりふの明瞭さを設定します。
  + デフィニション:失われたサウンドを元のサウンドのレベルに復元します。
- 評価：選択した音楽の評価を設定します。
- 歌詞の表示:画面に歌詞を表示するかどうかを選択します。
  （LRC歌詞ファイルのみサポート）
- 再生速度:曲の再生速度を設定します。

ビデオ

ビデオの選択

1. ホームメニューで［ビデオ］を選択すると、ビデオスキャンリストが表示されます。
2. ビデオリストで、選択したビデオを押すと再生されます。

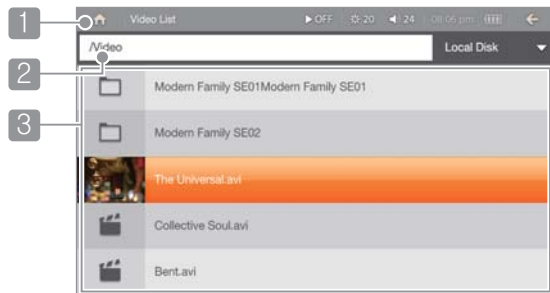
! ホーム画面の、ビデオのブックマークリスト内のブックマークを選択すると、そのビデオがすぐに再生されます。フォルダを選択してから［ ← ］を押すと、上位のフォルダに移動します。

ビデオリスト画面右上隅の［ローカルディスク/ブックマークリスト］ボタンを押すと、ビデオリストを変更できます。

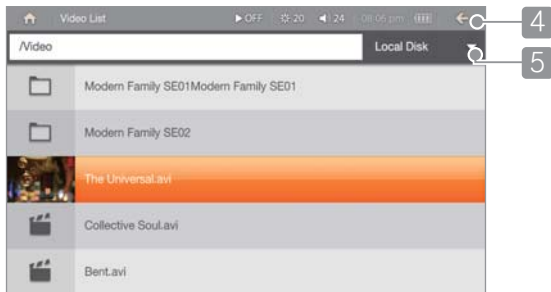
連続再生時間:約8時間 – ビデオ:Xvid、800x480@30fps, 1024Kbps / オーディオ:MP3、128Kbps 44.1kHz、ステレオ（LCD明度7、音量20）

ビデオの再生

- [＋/－] ボタンを押して音量を調整します。
- 再生中に [II/▶] ボタンを押すと一時停止/再開します。
- 再生中に [I◀/▶I] ボタンを押すと、前/次のファイルを再生することができます。
- 再生中にプログレスステータスバー上の希望のロケーションに触れると、そこに移動できます。
- 再生中に画面の [1.0X] を押すと、再生速度を設定できます。
- 再生中に画面の [ ] を押すと、再生箇所がブックマークに追加されます。
  + ビデオリスト画面の右上隅にある [ローカルディスク-ブックマークリスト]、またはホーム画面の [ビデオブックマーク] に、追加したブックマークが表示されます。
  + ブックマークを削除するには、ブックマークリスト内の [⊗] を押します。

ビデオの再生用LCDディスプレイ

1 ホーム画面：ホーム画面が表示されます。

2 現在のロケーション：現在のロケーションが表示されます。

3 ファイルリスト：ファイルリストが表示されます。

4 前の画面：前の画面が表示されます。

5 ビデオリストモード：ビデオリストの表示方法を変更します。

ビデオの再生用LCDディスプレイ

1 タイトル（ファイル名）: タイトル（ファイル名）が表示されます。

2 再生画面：再生画面が表示されます。

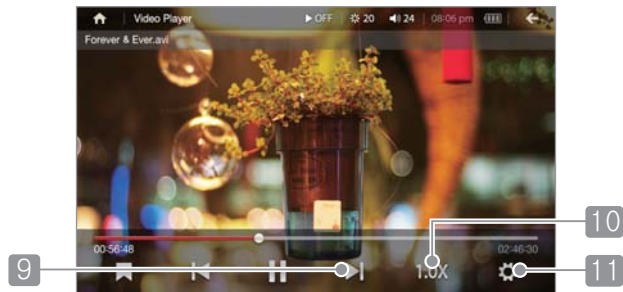
3 プログレスバー：進行状況が表示されます。

4 ブックマーク：再生箇所をブックマークに追加します。

5 経過時間：ビデオの経過時間が表示されます。

6 前のビデオを再生：前のビデオを再生します。

7 現在のファイルの合計再生時間：現在のビデオの合計再生時間が表示されます。

8 再生/一時停止：ビデオを一時停止/再開します。

9 次のビデオを再生:次のビデオを再生します。

10 再生速度 : 曲の再生速度を設定/表示します。

11 オプション : ビデオのオプションが表示されます。

その他の機能

1. 再生中に［ ⚙ ］を押すと、オプションリストが表示されます。

2. 希望のメニューを選択し、項目を設定します。

- オーディオトラック：複数の音声がある場合は、再生する音声を選択します。
- 字幕：複数の字幕がある場合は、表示する字幕を選択します。
- 画面モード:画面の表示モードを設定します。
- 再生モード:ビデオのリピートモードを設定します。
- TV解像度：HDMIデバイスの解像度を設定します。
- TV Out:HDMIデバイスの画面の出力を設定します。

FMラジオ

FMラジオの実行

1. ホーム画面の［FMラジオ］を選択すると、ラジオ周波数が表示されます。
2. 画面上の［ ー/＋ ］または［ ＜/＞ ］を押してラジオ放送を選択します。

! FMラジオを聴いている間は、イヤホンはアンテナの機能をします。
（受信状態を良くするには、同梱のイヤホンのみを使用してください。）
周波数バンドを移動させて、希望の周波数に合わせます。

FMラジオを聴く

- 聴いているときに外側ボリュームボタンの［＋/ー］ボタンを押すと、音量を調節できます。
- ［ ー/＋ ］を押すと、周波数が高低に移動します。
- 保存されたチャンネルがない場合は、画面内の［ ＜/＞ ］を押すと周波数バンドを上下させて希望の周波数を見つけます。
- 保存されたチャンネルがない場合、画面内の［ ＜/＞ ］を押して、前/次のチャンネルに移動させます。
- 画面内の［ ▲UP/▼DOWN ］ボタンを押すと、次/前のチャンネルに移動します。
- 画面内の［ LIST ］を押すと、チャンネルリストが表示されます。
  + チャンネルリストの隣の［ ✕ ］を押すと、選択したチャンネルが削除されます。
- ラジオを聴いているときに［ SAVE ］を押すと、ラジオ放送を録音できます。
- ラジオを聴いているときに［ DELETE ］を押すと、ラジオ放送が削除されます。
- ラジオのリスニング中に［ SEARCH ］を押すと、受信可能な周波数を走査し、それをチャンネルに記録することができます。
- 放送を聴いているときに［●］ボタンを押すと、その放送を録音できます。［ ▌▌ ］を押すと録音が一時停止し、［■］を押すと録音が停止します。

- 聴いている時に［ ］を押すと、オプションリストが表示されます。
  + 選択したファイルを再生するには、その他の機能を選択します。
  + 再生中に画面内の［ ⏸/▶ ］を押すと、一時停止/再開します。
  + 再生中に画面内の［ ⏮/⏭ ］を押すと、前/次のファイルが再生されます。
  + 再生中にプログレスステータスバーに触れると、希望のロケーションに移動します。
  + 再生中に画面内の［ ］を押すと、リピートモードを設定できます。
  + ファイルを削除するには、録音ファイルリスト内の［ ］を押します。
- 聴いている時に画面の［ ］を押すと、イヤホン/スピーカーを通してサウンドが出力されます。

!

利用可能なメモリまたは電力が十分ではない場合は、録音は自動的に停止します。

録音されたファイルは以下の形式で保存されます。

TUNERYYMMDD_XXX.wma（YY:年、MM:月、DD:日、XXX:連番）

最大録音時間は5時間です。

FMラジオ用LCDディスプレイ

1 ホーム画面　：ホーム画面が表示されます。

2 受信周波数：現在受信している周波数が表示されます。

3 チャンネルのオン/オフ：チャンネルのオン/オフ状態が表示されます。

4 周波数バンド：放送の周波数バンドが表示されます。

5　録音リスト：録音リストが表示されます。

6　録音:受信している放送を録音します。

7　低い周波数へ移動：より低いレベルの周波数に移動します。

8　高い周波数へ移動：より高いレベルの周波数に移動します。

9　受信可能な低い周波数/保存済みの低いチャンネルに移動：受信可能なより低い周波数、または保存済みのより低いチャンネルに移動します。

10 オプション：FMラジオのオプションが表示されます。

11 受信可能な高い周波数/保存済みの高いチャンネルに移動：受信可能なより高い周波数、または保存済みのより高いチャンネルに移動します。

12 高い周波数/チャンネル：より高いレベルの周波数/チャンネルに移動します。

13 低い周波数/チャンネル：より低いレベルの周波数/チャンネルに移動します。

14 サウンド出力：イヤホン/スピーカーを通してサウンドを出力します。

15 前の画面：前の画面が表示されます。

16 受信モード：放送の受信モードが表示されます。

17 チャンネルリスト:保存されたチャンネルのリストが表示されます。

18 プリセットの保存/削除:現在受信している周波数を、チャンネルに保存、またはチャンネルから削除します。

19 自動プリセット:受信可能な周波数信号を走査し、チャンネルに自動的に保存します。

その他の機能

1. 聴いている時に［ ⚙ ］を押すと、オプションリストが表示されます。

2. メニューを選択し、項目を設定します。

- 自動プリセット:受信可能な周波数信号を走査し、それをチャンネルに自動的に保存します。
  + 最大30チャンネルを保存できます。
- ステレオ/モノ : 放送の受信モードを設定します。
- チューナーの地域 : 地域に合わせて、放送周波数と段階を設定します。
  韓国/米国/中国:87.5~108.0MHz / 日本:76.0~108.0MHz /
  ヨーロッパ:87.50～108.00MHz

写真

写真の選択

1. ホーム画面で［写真］を選択すると写真リストが表示されます。
2. リスト内で写真を選択すると、その写真が全画面表示されます。

!

フォルダを選択してから［ ← ］を押すと、上位のフォルダに移動します。

画面右上の［ローカルディスク］を押すと、Micro SDカードが挿入された際に外部メモリを選択できます。

サポートされるファイル形式:JPG、BMP、PNG、GIF

(一部のファイル形式は完全互換がない場合があります。)

写真の表示

- 写真の表示中に［左/右］ボタンを押すと前/次の写真が表示されます。
- 全画面表示の時に画面を押すと、ツールバーウィンドウが表示されます。
- ツールバーウィンドウの［ ▶ ］を押すとスライドショーが始まり、画面を押すとスライドショーが停止します。
- ツールバーウィンドウの［詳細表示］を押すと、画面が変わります。
  + ：反時計回りに画面が90度回転します。
  + ：時計回りに画面が90度回転します。
  + ：画面が拡大されます。
  + ：画面が縮小されます。
  + ：画面変更モードを終了します。

- ツールバーウィンドウの［リスト表示］を押すと、画面の右側にファイルリストが表示されます。
  - + ：画面のリスト表示を終了します。
- ツールバーウィンドウの［フォトフレーム］を押すと、ホーム画面に選択した領域が表示されます。
  - 192x192 よりも小さい写真はサポートされていません。
- ツールバーウィンドウの［壁紙］を押すと、表示されている写真が背景画面として保存されます。

! 一部の写真解像度ではズームができないことがあります。

写真リスト用LCDディスプレイ

1 ホーム画面　：ホーム画面が表示されます。

2 現在のロケーション：現在のロケーションが表示されます。

3 ファイルリスト：ファイルリストが表示されます。

4 前の画面：前の画面が表示されます。

写真表示用LCDディスプレイ

1 ファイル名：ファイル名が表示されます。

2 画面の変更：画面変更モードに入ります。

3 スライドショー：スライドショーが開始します。

4 写真リストの表示：画面の右側に写真リストが表示されます。

5 フォトフレーム：フォトフレームを設定し、ホーム画面に表示します。

6 背景画面：表示されている写真を背景画面に設定します。

7 オプション：写真のオプションが表示されます。

その他の機能

1. 写真の表示中に［ ⚙ ］ボタンを押すと、オプションリストが表示されます。
2. 希望のメニューを選択し、項目を設定します。

- スライド時間:スライドショーに表示される各画像の時間を設定します。
- トランジション効果：スライドショーのトランジション効果を設定します。
- ランダム再生:スライドショーの写真をランダムな順序で再生します。

電子書籍

ファイルの選択

1. ホーム画面で［電子書籍］を選択するとファイルリストが表示されます。
2. ファイルリストから表示するファイルを押すと、選択したファイルが全画面表示されます。

!
フォルダを選択してから［ ← ］を押すと、上位のフォルダに移動します。
Micro SDカードを使用するには、画面右上隅の［ローカルディスク］を押し、外部メモリを選択します。
サポートされるファイル形式:TXT
ファイル内で使用されているフォントによって、文字が正しく表示されなかったり、またはファイル形式が異なる方法で表示されたりすることがあります。

ファイルの表示

- ファイルの表示中に［上/下 ↕ ］ボタンを移動させると、前/次のページが表示されます。
- ファイルの表示中に画面を押すと、ツールバーウィンドウが表示されます。
- ツールバーウィンドウの［ ▶ ］を押すと自動スクロールが始まり、画面を押すと停止します。
- ツールバーウィンドウの［ ］を押すと、表示されている箇所がブックマークに追加されます。
  + 追加したブックマークはファイルリスト内の［ファイルの検索 - ブックマーク］で確認できます。
  + ブックマークを削除するには、ブックマークリスト内の［ ］を押します。
- ツールバーウィンドウの［ ］を押すと、画面が反時計回りに90度回転します。
- ツールバーウィンドウの［ ］を押すと、画面が時計回りに90度回転します。

ファイル表示用LCDディスプレイ

1 ホーム画面　：ホーム画面が表示されます。

2 ファイル再生画面：ファイルが表示されます。

3 自動スクロール：自動スクロールを開始/停止します。

4 前の画面：ファイル表示を終了します。

5 反時計回りに回転：画面が反時計回りに90度回転します。

6 ブックマークの追加:表示されているページをブックマークに追加します。

7 時計回りに回転：画面が時計回りに回転します。

8 オプション：電子書籍のオプションが表示されます。

その他の機能

1. ファイルの表示中に画面の [ ] を押すと、オプションリストが表示されます。

2. 希望のメニューを選択し、項目を設定します。

- フォントサイズ:テキストのフォントサイズを設定します。
- 背景 : テキスト画面の背景を設定します。
- 自動スクロール速度:スクロール速度を設定します。

録音

録音

1. ホーム画面で［録音］を選ぶと、選択した録音ウィンドウが表示されます。
2. 画面の［ ○○● ］を押すと、録音品質を設定できます。
3. 画面の［●］を押すと録音が開始します。
   - 録音中に画面内の［❚❚］を押すと一時停止し、［●］を押すと再開します。
4. 録音中に画面の［■］を押すと録音が停止します。

!

最大録音時間は5時間です。

利用可能なメモリまたは電力が十分ではない場合は、録音は自動的に停止します。

録音されたファイルは以下の形式で保存されます。

VOICEYYMMDD_XXX.wma (YY:年、MM:月、DD:日、XXX:連番)

録音ファイルの再生

- 画面内の [ ] を押すと、録音ファイルリストが表示されます。
  + 録音ファイルリスト内のファイルを選択して、再生します。
  + 再生中に画面内の [II/ ▶] を押すと、一時停止/再開します。
  + 再生中に画面内の [◀ / ▶] を押すと、前/次のファイルが再生されます。
  + 再生中にプログレスステータスバーに触れると、希望のロケーションに移動します。
  + 再生中に画面内の [ ] を押すと、リピートモードを設定できます。
  + ファイルを削除するには、録音ファイルリスト内の [ ] を押します。

録音用のLCDディスプレイ

1 ホーム画面 ：ホーム画面が表示されます。

2 現在のステータス：現在のステータスが表示されます。

3 録音ファイル名：録音されているファイル名が表示されます。

4 録音時間：録音の経過時間が表示されます。

5 録音の質:録音された音声の質を設定します。

6 前の画面：前の画面が表示されます。

7 録音：録音を開始します。

8 録音可能時間：録音可能時間が表示されます。

9 録音リスト：録音リストが表示されます。

カレンダー

カレンダーの表示

1. ホーム画面の［カレンダー］を選択すると、カレンダーが表示されます。
2. 画面の［ ⁖/⁖ ］を押すと、希望の年と月が表示されます。

現在の時刻の設定

1. 画面内の［ ⚙ ］を押すと、日付設定画面が表示されます。
2. ［ ∧/∨ ］を押して現在の日時を設定します。

ファイルブラウザ

本製品に保存された様々なファイルを実行・管理します。

ファイルのブラウズ

1. ホーム画面で［ファイルブラウザ］を選択すると、ファイルリストが表示されます。

! フォルダを選択してから［ ← ］を押すと、上位のフォルダに移動します。
Micro SDカードを使用するには、画面右上隅の［ローカルディスク］を押し、外部メモリを選択します。

本製品へのファイル（フォルダ）のコピー

1. 選択ボックスの隣にチェックマークを付けてそれを押すと、コピーするファイル/フォルダを選択できます。
   - 複数選択も可能です。
2. ファイルリストの右側の［コピー］を押し、コピー先の場所を選択します。
3. 画面上の［貼り付け］を押すと、選択したファイル/フォルダがコピーされます。

本製品へのファイル（フォルダ）の移動

1. 選択ボックスの隣にチェックマークを付けてそれを押すと、移動するファイル/フォルダを選択できます。
   - 複数選択も可能です。
2. ファイルリストの右側の［移動］を押し、希望の場所を選択します。
3. 画面上の［貼り付け］を押すと、選択したファイル/フォルダが移動します。

本製品からのファイル（フォルダ）の削除

1. 選択ボックスの隣にチェックマークを付けてそれを押すと、削除するファイル/フォルダを選択できます。
   - 複数選択も可能です。
2. ファイルリストの右側の［削除］を押し、削除する場所を選択します。

! 画面右側の［選択の解除］を押すと、選択した全てのボックスの選択が解除されます。

設定

希望のユーザー環境を設定します。プリインストールされたメニュー構造は、ファームウェアのバージョンやモデルによって異なる場合があります。

設定

1. ホーム画面の［設定］を選択します。
2. 左タブをクリックして希望の項目を選択すると、設定リストが表示されます。
3. 希望の設定を押して、項目を設定します。

一般

- 日付&時間

  現在の時刻を設定します。

- 言語

  メニューの言語を選択します。

- エンコード

  言語のエンコードを選択します。

- タッチサウンド

  画面に触れるとサウンド効果のオン/オフが切り替わります。

画面の設定

- 輝度

  画面の輝度を設定します。

- ユーザー背景

  ユーザーが設定した背景を表示するかどうかを指定します。

- TV解像度

  TV画面の出力解像度を設定します。

- キャリブレーション

  タッチスクリーンのタッチロケーションを変更します。

- 色の調整

  画面の色を変更します。

詳細設定

- システム情報

  本製品のシステム情報が表示されます。

- デフォルトに戻す

  工場出荷時設定に戻します。

- システムフォーマット

  メモリ内の全データを削除します。

パワーマネージメント

- 自動オフ

事前設定された時間にユーザーによる操作がない場合、電源が自動的にオフになります。

- 自動ディスプレイオフ

バックライトがオフになる時間を設定します。

+ 自動ディスプレイオフ機能によって画面がオフになった場合にオンにするには、オフになってから5秒以内にタッチスクリーンに触れる必要があります。5秒後以降は、ボタンを押して再度オンにする必要があります。

- スリープタイマー

事前設定した時間に達すると、電源が自動的にオフになります。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレード

1. iriverホームページから、最新のファームウェアをダウンロードします。
2. USBケーブルを使って、本製品をコンピューターのUSB端子に接続します。
3. ダウンロードしたファームウェアのファイルを、本製品のルートに保存します。
4. 本製品をコンピューターから取り外して、ファームウェアのアップグレードを開始します。
5. アップグレードが完了すると、本製品が再起動します。

! バッテリー電力が十分ではないと、ファームウェアのアップグレードが開始できない場合があります。
ファームウェアのアップグレードファイルのダウンロード中は、本製品を決して取り外さないでください。

安全に関する重要な情報

製品関連

- 同じ画面で長時間放置しておくと、画面に残像が生じる場合があります。
- 金属（硬貨、ヘアピンなど）や燃えやすい異物が製品内に入らないようにしてください。、
- 製品の上に重い物を置かないでください。
- 雨、飲料、薬剤、化粧品、汗、湿気などで製品が濡れた場合は、電源を入れず、製品を乾いた布で素早く拭いてから、最寄りのiriverサービスセンターで確認を依頼してください。（浸水による故障は、保証期間内でも有料となります。また修理が不可能な場合もあります。）
- 本製品を湿気、埃、煤などに曝さないでください。
- 本製品を分解、修理、改造しないでください。
- 本製品を直射日光や極端な温度（-5℃～40℃）に曝さないでください。
- 磁気、TV、モニター、スピーカー、または強い磁性を持つ物体に本製品を近づけないでください。

- 本製品に化学物質やクリーナーを使わないでください。表面が退化し、損傷することがあります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。
- 同時に複数のキーを押さないでください。
- データを送信するときは、USBケーブルから抜かないでください。データ転送中にコンピューターから本製品を取り外すと、データの損失につながることがあります。取り外す際は、オペレーティングシステムが備えるハードウェアの安全な取り外し機能を使用してください。
- 本製品をコンピューターに接続する際は、コンピューターの背面にあるUSBポートを使用してください。標準を満たしていないUSBポートを備えるノーブランドのコンピューターは、本製品に損傷を与えることがあります。
- イヤホン以外のデバイスをイヤホン端子に挿入しないでください。
- 本製品の画面を鋭利な物で触れないでください。
- 安全フィルムまたはステッカーを画面に貼ると、その貼り方や接着性などによって、誤動作が生じることがあります。
- 欠陥のあるフィルムを貼ると、タッチの感度が下がったり、画面が暗くなったりすることがあります。

電力供給

- 多数の電源プラグを一度に挿入しないでください。
- ACアダプターを力を入れて曲げたり、重い物の下に置いたりしないでください。
- ACアダプターを濡れた手で扱わないでください。
- ACアダプターが安全に挿入されていることを確認してください。
- 激しい雷雨の間はACアダプターを抜いてください。
- ACアダプターは専用の製品（別売り）のみを使用してください。
- 使用していない時は常にACアダプターを抜いてください。
- 異物や液体が本製品に入った場合は、即座に電源を切り、ACアダプターを抜いてください。
- 本製品から煙、臭気、ノイズが出ている場合は、即座に電源を切り、ACアダプターを抜いてください。

その他

- 自転車、車、バイクの運転中はヘッドホンやイヤホンを扱わないでください。
  危険なだけではなく、地域によっては違法な場合もあります。
- 運転、歩行、または登山中は使用しないでください。
- 危険のない場所でのみ本製品を使用してください。
- 移動中に使用する際は、危険な障害物がないことを確認してください。
- 嵐のときは、電気ショックの危険があります。可能であれば使用を避けてください。
- 耳鳴りがする場合は、音量を下げるか、使用を止めてください。
- 大音量で長時間使用しないでください。
- ヘッドホンやイヤホンを大音量で使用しないでください。
- 使用中に、ヘッドホンやイヤホンが他の物体にからまないようにしてください。
- イヤホンをつけたまま眠ったり、イヤホンを長時間使用したりしないでください。

トラブルシューティング

確認してください！

+ 電源が入らない。
  - バッテリー内の利用可能電力を確認してください。USB端子かACアダプター（別売り）を使って充電後、確認してください。
  - 先のとがった物を使ってリセットキーを押します。
+ ACアダプターが接続されてないと、バッテリーは充電されません。
  - ACアダプターが適切に接続されていることを確認してください。
  - バッテリーが十分充電されていることを確認してください。充電が完了するとLEDが消えますが、ACアダプターが接続されていても電源は入りません。

+ USBの接続時にコンピューターにエラーが発生する。
  - 本製品がUSBケーブルに適切に接続されていることを確認してください。
+ フォーマット後に容量が変化する。
  - 使用しているコンピューターのOSによって、容量がわずかに変わることがあります。
+ 警告なしに画面がオフになる。
  - 電力消費を節約し、オーディオファイルの再生時間を長くするため、本製品は一定時間操作がないとオフになるように設計されています。[設定 - パワーマネージメント-自動ディスプレイオフ] でオフになるまでの時間の長さを調節できます。
+ FMラジオの受信が悪く、雑音がある。
  - イヤホン端子内に異物がないことを確認してください。
  - イヤホンが適切に接続されていることを確認してください。(FMラジオを聴いている間は、イヤホンはアンテナの機能をします。)
  - 本製品とイヤホンの位置を調節してください。
  - 干渉の原因となる可能性のある、近くにある電子機器の電源を切ります。

+ 画面が正常ではない。
  - 画面上に異物がないかどうか確認してください。
+ 音が出ない、またはノイズが大きい。
  - 音量が「0」に設定されていないことを確認してください。
  - イヤホンが適切に接続されていること、また端子に異物がないことを確認してください。
  - 音楽ファイルにエラーがないことを確認してください。
+ 本製品がコンピューターに認識されない。
  - 本製品を、コンピューター背面にあるUSBポートに接続してください。
    USBポートの電圧が異なる場合があります。

+ ファイルが再生されない、またはいくつかのファイルイメージがぼやけている。
  - ファイルの種類または画像の質によって、以下の問題が発生することがあります。
    - ファイルの再生が困難または不可能。
    - 本製品はファイルの問題によって誤動作する場合があります。
    - 本製品の画面上のイメージは、コンピューターの画面上のものと異なったように表示されることがあります。
    - これは、本製品をコンピューターの性能（再生速度など）の違いが原因であることがあります。
    - 仕様が異なる可能性もあります。
  - ファイルを適切な形式に変換してから再試行するか、別のファイルを使用してください。

著作権

iriver Ltd.が、特許権、商標、著作権、および本マニュアルに関連するその他の知的財産権を所有します。
従って、本マニュアルの内容は、iriver Ltd.の許可なしに、形式・方法を問わずコピー・複製することはできません。本文書の部分または全体の使用は、法的制裁につながることがあります。ソフトウェア、サウンド源、ビデオ、および著作権があるその他の内容は、著作権規制などの関連条項の下に保護されています。ユーザーは、著作権がある内容の未許可のコピーや配布に法的責任があります。
例の中で引用されている企業、組織、装置、人々、またはイベントは例示目的のみであり、実在する人や状況を表している訳ではありません。
当社は、いかなる企業、組織、装置、人々、またはイベントの関係を、本マニュアルを通して暗示する意図はなく、何物も推測されるべきではありません。
関連する著作権規制を順守することはユーザーの責任です。

証明書

KC / FCC / CE / CCC

グレードBデバイス（家庭用の放送と通信デバイス）は主に家庭での使用（グレードB）を意図されており、あらゆる地域で使用することができます。

登録商標

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Media PlayerはMicro-soft Corpの商標です。

WOW HD、CS Headphone、SRSおよび の記号はSRS Labs, Inc.の商標です。

Labs, Inc.

免除

製造業者、輸入業者、および代理店は、負傷を含む事故、あるいは製品の不適切な使用または取り扱いによって生じる損害に責任を持ちません。本マニュアル内の情報は、製品の現在の使用に基づいています。
本製品の製造業者であるiriver Ltd.は、継続的に本製品に新規機能を追加し、新規テクノロジーを適用します。個人ユーザーへの事前の通知なしに、あらゆる標準が変更されることがあります。
当社は、製品の使用によって生じたデータ損失には責任を負いません。

製品仕様

モデル		P8
メモリ		16GB
主な機能	再生・視聴	音楽/動画/画像/FM ラジオ/録音(ボイス、FMラジオ)/テキスト/カレンダー

分類	項目	仕様
本体寸法	(W)X(H)X(D)mm	約145（W）x 84.5（H）x 13.8（D）mm
重　量	本体	約227g
電　源	充電池タイプ	リチウムポリマー内蔵充電池
充電時間	USB-ACによる充電	約7.5時間（DC5V　1000mA）
	PCからUSB充電	約8時間
ディスプレイ	タイプ	TFTカラーLCD
	サイズ	5型
	解像度	WVGA(800x480ピクセル)
メモリー	タイプ	NANDフラッシュメモリー
USB	USBストレージクラス	対応
	インターフェイス	USB2.0, ホスト機能付き
オーディオ	周波数特性	20Hz～20KHz
	イヤホン出力	17mW(L) ＋ 17mW（R）

音楽再生	対応ファイル形式	WAV、MP3(MPEG 1/2/2.5 Layer 3)、WMA、OGG、FLAC、APE
	対応レート	MP3/WMA:8Kbps～320Kbps、OGG:Up to Q10、FLAC:0～8、WAV:PCM(1411Kbps)
	S/N比	90dB
	ID3タグ	ID3V:　V2.2、 V2.3
	イコライザー	プリセット:5種類(Normal/Rock/Pop/Classic/bass) その他:カスタムEQ/SRS WOW HD/SRS 5.1 Surround
	リピートモード	全てリピート/一回リピート/シャッフル
	再生モード	通常再生
	区間リピート	A-Bリピート
	その他の機能	再生速度変更(0.5x～1.8x)、歌詞表示
動画再生	対応ファイル形式	AVI、WMV、MKV、M4V、MOV、FLV
	フレームレート	30fps
	その他の機能	TV出力:HDMI出力(ケーブル別売り)
		字幕表示
画像再生	対応ファイル形式	JPEG、BMP、PNG、GIF
	最大ファイルサイズ	1000万画素
	画像表示時間	スライドショー:1/3/5/10 秒
FMラジオ	周波数	76.0MHz ～ 108.0MHz
	地域	日本/韓国/アメリカ/ヨーロッパ
	アンテナ	イヤホンコード

<table>
<tr><td rowspan="4">録音</td><td>録音機能</td><td>ボイス録音/FMラジオ録音</td></tr>
<tr><td>録音ファイル形式</td><td>WMA ステレオ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">録音品質
（サンプリングレート）
(ビットレート)</td><td>ボイス録音:(高)44kHz/(中)44kHz/(低)44kHz
FMラジオ録音:固定　44KHz</td></tr>
<tr><td>ボイス録音:(高)192kbps/(中)128kbps/(低)64kbps
FMラジオ録音:固定　140kbps</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td>対応ファイル形式</td><td>TXT</td></tr>
<tr><td rowspan="2">連続再生時間</td><td>音楽</td><td>約50時間（MP3, 128kbps, Vol20, EQ ノーマル, LCD オフ）</td></tr>
<tr><td>動画</td><td>約8時間（動画:Xvid, 800×480, 30fps, Vol20, 画面明るさ:7）</td></tr>
<tr><td>拡張スロット</td><td>microSD</td><td>最大32GB対応　*全てのカード動作を保証するものではありません。</td></tr>
<tr><td>表示言語</td><td>言語数</td><td>9言語（中国語は簡体/ 繁体）</td></tr>
<tr><td>対応OS</td><td>Windows</td><td>Windows 7（32bit/64bit）/Windows Vista（32bit）/Windows XP/Windows 2000</td></tr>
<tr><td>ボリューム</td><td>ステップ</td><td>40</td></tr>
<tr><td>環境条件</td><td>動作環境</td><td>5℃～35℃</td></tr>
</table>

お客様サポート

製品サポート総合案内　http://www.iriver.jp

iriverのWebサイトの「お客様サポート」には、製品別にQ&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア、ソフトウェア、取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

カスタマーサポート

①製品保証書の記入事項
　本製品のパッケージには、製品保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、製品保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。
②修理をご依頼の前に
　iriverのWebサイト（http://www.iriver.jp）のQ&A（よくある質問）をよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー サポートセンターまでご相談ください。お客様がプレーヤーに録音したファイルの損失ならびに障害につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。修理や点検に出す際には必ずバックアップをお願いいたします。
修理や点検のためにプレーヤーが初期化される場合があります。

お客様サポート

アクセサリー・オプション品に関するご注文は

iriver eストア　楽天市場店
http://www.rakuten.ne.jp/gold/iriver-jp/

ご購入後のサポートに関するお問い合わせは

アイリバー サポートセンター

0570-002-220 受付時間 10:00〜18:00（土・日・祝祭日、年末年始を除く）

光電話・IP フォンをご利用のお客様は 03-3570-6405 へ